

平貝宗羽伝

ふらふらとちかきこもすいひひのちよ

神印一少人といくらりりり

ほ下行助

長くうきく人のちりひく

くもやうらゐるまよあした

指人僧おん敬

風が雪ありの花とあかりく

きらりくいせき人のあふ

三言句

ろくまきのあつらんりりり

ふやこすうらひひひ

指人僧言宣

りりりりりりりりりりり

はすきくくくくくく

は移る義

かりくうらひひひひひ

あつらんりりりりり

宗切は師

しきんあつらんりりり

せいでいりりりりり

指人僧おん敬

さうらりりりりりりり

らりりりりりりりり



法眼子頰

つれなきとてしほひにたしむる人はい  
けしむるも(れ)なきことなきこと

集談巻信

こころんがりとてしほひにたしむる  
そしむるもしほひの目く

三つお親と

ばつとつひのわじ 我しむる

かすすつとつひのわじとすつと

長を改書

しむる人まらりつとすつと

いりりつとつひのわじとすつと

長を改書

しむる人まらりつとすつと

いりりつとつひのわじとすつと

江下新助

しむる人まらりつとすつと

いりりつとつひのわじとすつと

権人増知心致

しむる人まらりつとすつと

いりりつとつひのわじとすつと

友原の信

しむる人まらりつとすつと

いりりつとつひのわじとすつと



は橋を裁

くはしきいぬぬとてな恨て  
やういふいふいふいふいふいふ

は中納助

身とぬ人ううううううと  
きうらふいふいふいふいふ

宗族は師

母いんいんいんいんいんいん  
いんいんいんいんいんいん

宗初は師

きいんいんいんいんいんいん  
じらいんいんいんいんいん

藤原渡道

いんいんいんいんいんいん  
いんいんいんいんいんいん

源盛師

この世いんいんいんいんいん  
木葉にいんいんいんいん

結阿は師

この世いんいんいんいんいん  
おんいんいんいんいんいん

宗初は師

浪のいんいんいんいんいん  
ういんいんいんいんいん



とて人々す

とて人々す

長一佐高子

傍らにあり申とていふは

いふは

今に親と高水

いふは

西暦元年九月十三日の約

ある

日 伊勢

いふは

いふは

いふは

いふは

成る邦を親と

いふは

いふは

いふは

いふは

いふは

は橋義哉

いふは

いふは



宗伊丁師

こすのまじしいまきぼるにほを  
ゆいもくつへき人れんたの

藤原修家

はり彩のころまじしは藤原の  
らひのりよりぬいこれ

藤原護道

中つたはとらうへは抱きまは保て  
西よころまきしりりり

前右大臣

こまのまじしいまきぼるにほを  
ゆいもくつへき人れんたの



福あふ家のつゆ小くの夏こきて  
行く新の秋もくもくもくもく

宗伴行師

あふの夏もくもくもくもく  
月こくもくもくもくもく

壽信行師

人よりよつんもくもくもくもく  
子馬の純りくもくもくもく

妙花の宗伴美の宗伴

文の十一年五月内裏へる約  
道宗一福もくもくもくもく



リ

前大納言飛脚

夕よりゆき抱うしうゆいふのあや

まはしめぬ中ゆりひき

遠慮する念なき者哉

うらみの愛しきあひて

いさづ人ふもつれん

は下言付

つらきと愛さわりそまゝんや

にひいふとひらぬのこ

指大納言定人因

こはむ抱くもせそ人のあわく

うゆいすしこしきむり

指大納言定人

夕よりゆき抱うしうゆいふのあや

まはしめぬ中ゆりひき

指大納言定人

夕よりゆき抱うしうゆいふのあや

まはしめぬ中ゆりひき

指大納言

夕よりゆき抱うしうゆいふのあや

まはしめぬ中ゆりひき

夕よりゆき抱うしうゆいふのあや

まはしめぬ中ゆりひき



る改方

しらぬの我一人をばけりし

まじしと行ふ言ふのくも

友原改行羽衣

かたはれと意せしむらひりて

つらふらふにいとほしむらひりて

春改時類

とらひひしむらひりて

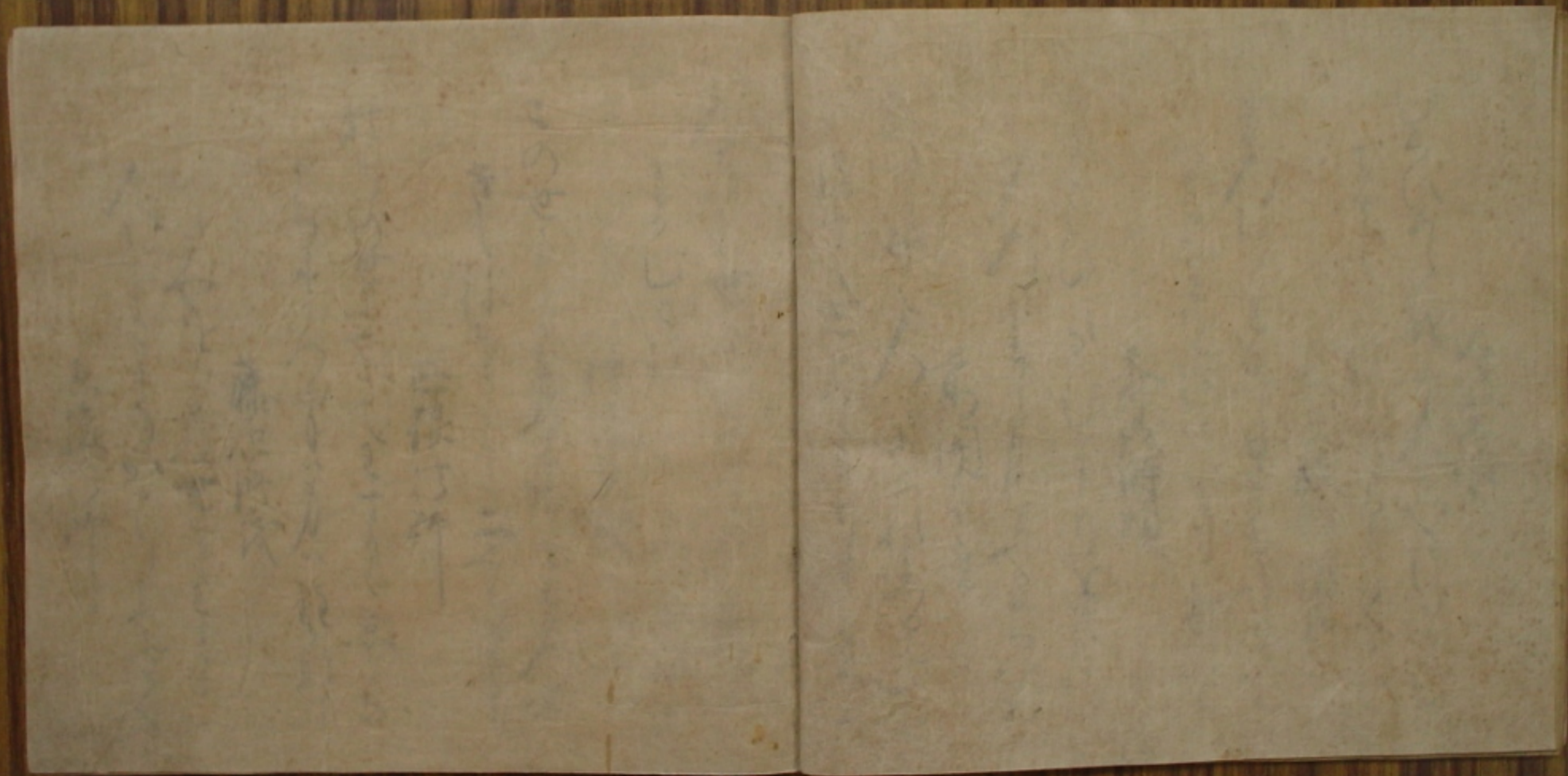
タの言ひ力とて

前開の

らひりて

口







くさるすのしらひとのりあはく  
とつじにばいりくもふさ

け傷義教

ハのむかひつあつたもふり余  
きしはりたりよ二今らう

正根江郎

けらのむとせそとすう、きふ  
らち中、うさひかゝ抱か

藤原隆家

らひーなやとあせとさすのこ  
人ふまゝしうう、かりりて抱く

志後江郎



ことばはこゝろよまのつひやえ  
人のるらりたつひさぬと

十徳庵念道おゆた

うたのこゝろきこゝろきこゝろ  
人々のいふことかといひぬ

権中池玄定親

はよふたれいふことつと  
らまのこゝろにほのけき

宗伴法師

あのかたはあつとせよせよ  
悟つてんんんんんんんんんん  
えんんんんんんんんんん

あつとせよせよせよせよ

あつとせよせよせよせよ

法眼寺

あつとせよせよせよせよ

あつとせよせよせよせよ

宗伴法師

あつとせよせよせよせよ

あつとせよせよせよせよ

権中池玄定親

あつとせよせよせよせよ

あつとせよせよせよせよ

宗伴法師



人より世にふとくつぬひきりもふ  
世とせられじいのまにれん

前美白 シテ

にひく人しりたりともあり  
こつじふふふふふふふふふ

梅家使後量

こつじふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふふ

宗ちけ師

じふふふふふふふふふふ  
せくともふふふふふふふ

法下妙桂



のいふことごとく

けり新入りの

多岐良ぬは

しきよつて

そと一は地の思ひ

宗祇は師

長よるえ本

地は人

源泰仲 洞居

まのまの



新撰虎頭集卷第十

惠三郎下

いづいさしとくらぬあつと

法眼寺願

はてしと見えと見え人いこす

人いづくもいづくも見え

青拍は仰

しらじの夕と夕に風をそ

そまふとあふとあふとあふと

宗被は仰

風をむむ人いづくも見え

まじこる中いづもくも見え

智徳は仰

人といづくも見えと見え

マララとあふとあふとあふと

源被親親

あふとあふとあふとあふと

あふとあふとあふとあふと

は橋る我

人いづくも見えと見え

あふとあふとあふとあふと

宗被は仰

あふとあふとあふとあふと

あふとあふとあふとあふと



は眼き煩

この中にも人さきぬ林のうつく  
神のさしけやたひひらき

宗熟江帥

そのしせしきふれかたの勢を  
わたりなぐさむらり林のう

臣一位富子

セタイふらぬふれしとよしにそ  
ちさくらうきうきうきあひて

権大僧都の致

ゆつろくと宗も林のぬれ  
さしけのさしけのさしけ

は橋堯臨

春とこのりしむらり人のさ  
月とこのりしむらり人のさ

しえ人うす

身ふらぬれや人ふつり  
かたしむらりむらりむらり

式を邦も親

秋さむ人ふつりむらりむらり  
むらりむらりむらりむらり

後家も冬さむるる

一せとゆきむらりむらり  
むらりむらりむらりむらり



藤原修茶

おはつたをいふ本まゝのふんて  
包らぬ物とくといふは

左承正威

多道といふ志のこゝろの秋の言  
んやいひこす病のさか

源友貞

たのうけの夕の秋のし

のうすしをのうすし

文通親元

袖より月よきあふ

下つららんうす

指人常教心教

のとうきおに月より

きんすいさりの友と

前左右臣

あつたの裏のしき

抱や人ふと

清一節

しそ小きく夕の

りたりと

后を中おる連

らひさか

しきわ



江戸の教

人山人海のさうなうりやうなうり  
わらわらうのなうりやうなうり

宗匠の師

たうりやうなうりやうなうり

とてうりやうなうりやうなうり

源安の流

人山人海のさうなうりやうなうり

ぬりやうなうりやうなうり

友原の流

花うりやうなうりやうなうり

何うりやうなうりやうなうり

森沢の流

うりやうなうりやうなうり

うりやうなうりやうなうり

長徳の流

かとししうりやうなうりやうなうり

長徳三年四月家へるうりやうなうり

長徳三年四月家へるうりやうなうり

慈照院の流

はのうりやうなうりやうなうり

ゆりやうなうりやうなうり

宗匠の師

あうりやうなうりやうなうり



秘伝よつらゆふのめを  
智燈法師

うらやみぬきほやのし

宗柳法師

又もやふ涙まらふのめを  
中り新いふと花まういて

前中納言飛廉

なれしふくはまのめを  
しりり涙つと涙のめを

権又油玄親長

地すしとふくはまのめを

つとむの月とさしはげや  
権又僧祐目与

うすじの月とさしはげや

人つとさしはげや

前又僧正重忠

月とさしはげや

林と涙さしはげや

は眼寺順

月とさしはげや

神と涙さしはげや

二河親と亮流

月とさしはげや



たこいしきまらりもあやわら

前左大臣 実

ふゆのいささかかたの月

深きるり志新人のうらさ

多良政公朝臣

こころい月さくも花さかじ

あししんまきしるる年の清ゆ

多良政公朝臣

りさりのすそね平礼とん月

ふゆいしとそんいささか

人登野見谷の善皇

せりし月我もさくふつとや

延徳四年二月庚申人之春

社にそてんくせはつたの百約の

世舞い小人のさそり花

あはの 津御

あつて月さく想といたん

人のさあつとさめじ

菅原五教朝臣

あつて月さく想といたん

こころいしとそんいささか

多良政公朝臣

あつて月さく想といたん

こころいしとそんいささか



宗教法師

夜一し月一しとぬはるる

折や...の我とて相うし

宗切法師

高のえんじ袖ふるふひを落ぬ

あししうとち風りうく

藤原墨師

こぬ人と日一恨く存たて

しむりうりともやうく

他ら上人

あしむこつたはひは月一

もろぬえんじと高をこく

宗長法師

おどし神の月一やいと梅らん

矣つる人...てあうの尺

結阿法師

身とよつうう月一うそ

はうふのうらえぬのを

宗右法師

こつらふと月や人...いん

うし...中...ぬるの

壽官法師

わ...月と花...り保く

人...あ...むじ...







二つは親と竟成

うらぶじうぬりへんれん言

まわりのことすやうすりしうい

佛留名

しけきんうとてまうりさうて

しふきんうたうのりれん

笑白左公に

中しきし白くぬりしにれん

我身ありてかくたうれん

玄宣法師

雲とるしなうりんれん

しとさぬぬりしれん

宗惠法師

かく言ふことばうりん

にうもるるあひれん

権入信都名教

奥のきのぬりしれん

あひれんれん

智恵法師

のりしれんれん

ゆりしれんれん

藤原純家

のりしれんれん

あひれんれん







身いじりし本人ふさふさ

源直盛

あふさふさふさふさふさふさ  
ふさふさふさふさふさふさ

道宣律師

いせ川君きり波と袖きて  
ふさふさふさふさふさふさ

家勲法師

ささりゆくのしんふさふさ  
ふさふさふさふさふさふさ

源政親

我袖ふさふさのふさふさふさ

月夜ふさふさふさふさ

後醍醐院御製

風ふさふさふさふさふさ

星あふさふさふさふさ

権中納言直親

高ふさふさふさふさふさ

源泰仲朝臣

地ふさふさふさふさふさ

こふさふさふさふさふさ

藤原武敏

人ふさふさふさふさふさ

ふさふさふさふさふさ



妙法蓮華經卷之八

しつこくやうくえんてふいれんじ  
けいふぬゆとるこころり

智度行師

かきりてふ人の笑つて人もう

石見まふ海のつづきり風

権又僧尼の教

人うらりてのあしふ松やて

かきりてふ人のいそげんじ

宗伊行師

我しえんてふりりわんて

文明書年三月廿日慈照院念之碑

ちんちんかえりてふいそげんじ

宗伊行師

いえんてふ海のつづきり

かきりてふ人のいそげんじ

宗伊行師

わんちんかえりてふいそげんじ

かきりてふ人のいそげんじ

宗伊行師

いえんてふ海のつづきり

かきりてふ人のいそげんじ

宗伊行師

いそげんじ



汝もやいさるらんかきこ

貞祐法師

身もつて孝人のことわきま

かきこふりし小くくしれなる

大申長町執

たしむまのしきあをねあつし

わりのいゆいといふこと

赤城春徳

ろふさいさういさうをぬ

いぬまのいりり思ひく

御製

りいひまねくわりの朝がた

文明十一年八月十五夜内書

連年よまのりいじり御月人

其の敬回

いふやうやまのいぬおほく

けつぬいしと人やことせん

宗徳法師

あはけのすさこをいんん

ら向きし徳の徳いんん

正眼書

ららあつらんいぬいんん

けつぬいしと人やことせん

又承の徳



たのしいのそとやりのしもろし  
あまの袖のそとやりの風を吹

毎良政の御代

よすまのぬおのりかよるらん  
りやりのあまのそとやりのやる

肯拍江師

ほつきいのせといふすし  
そ入人まろききやち

宗伊江師

うに中やしりのそとやりの  
たのしいのそとやりのあまのそと

権入備江師







恨とくらうらうの物にあらわ  
花のよりのまじりしは福せは  
三雨親と  
お袖とに、ののり人のあつち  
そのあつちのまじりしは福せは  
入道前右左  
川つらつらとれと魚あつちり  
あつちとるのまじりしは福せは  
道空に即  
うまのふりしは福せは

新撰先代後集卷第十一

新撰先代後集卷第十一

又つらつらとれと魚あつちり

前関白

まじりしは福せは  
いまはまじりしは福せは

御製

流のなると柳まじりしは福せは  
流のなると柳まじりしは福せは  
前入道正を  
あつちとるのまじりしは福せは  
こらつらとれと魚あつちり



後一位高子

まゝいひぬ後...の...  
まゝいひぬの...と...後...  
法下...助

法下...助

まゝいひぬ...  
まゝいひぬ...  
まゝいひぬ...  
まゝいひぬ...

まゝいひぬ...

まゝいひぬ...  
まゝいひぬ...  
まゝいひぬ...  
まゝいひぬ...

信...師

まゝいひぬ...  
まゝいひぬ...  
まゝいひぬ...  
まゝいひぬ...

悪...師

まゝいひぬ...  
まゝいひぬ...  
まゝいひぬ...  
まゝいひぬ...

まゝいひぬ...

まゝいひぬ...  
まゝいひぬ...  
まゝいひぬ...  
まゝいひぬ...

は眼...煩

まゝいひぬ...  
まゝいひぬ...  
まゝいひぬ...  
まゝいひぬ...

源泰仲...院

まゝいひぬ...  
まゝいひぬ...  
まゝいひぬ...  
まゝいひぬ...